エンディングノート（2011）

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 90分
初公開日 2011/10/01
公開情報 ビターズ・エンド
映倫 G

【キャッチコピー】
わたくし、終活に大忙し。

【解説】
　これがデビューとなった砂田麻美監督が、ガンで余命を宣告された自らの父と家族の残された最期の日々をカメラに収めた笑いと涙の感動セルフ・ドキュメンタリー。熱血営業マンとして“段取り命！”のサラリーマン人生を送ってきた砂田知昭。67歳で会社を引退し、第二の人生を歩み始めた矢先の2009年、ガンが発見されるもすでに手術は不可能な状態まで進行してしまっていた。すると彼は、遺された家族が困らないようにと、自らの死の段取りを人生最後の一大プロジェクトとして捉え、まずは死ぬまでにしておきたいことをリストにしたマニュアル“エンディングノート”作りに取りかかる…。死を迎えるにあたっても段取りにこだわる父親の哀しくもユーモラスな最期が、軽妙さを失わない客観的な眼差しで切り取られていく。

【クレジット】
監督 砂田麻美
製作 是枝裕和
プロデューサー 是枝裕和
音楽 ハナレグミ
主題歌 ハナレグミ 『天国さん』

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.